

マイ★オピニオン
意見・私見

「温井わけしよ会祭り」



温井わけしよ会 齋藤正樹

温井わけしよ会では、3月に行われた今年度の総会において、役員と活動内容が決まり、この4月から8月開催予定の「温井わけしよ会フェスティバル」に向けて、スイカ作りがスタートしています。会の構成は、会長、副会長、会計、農営部長、広報部長の役員を含め、現在の総勢15名で、汗みず流しががんばっています。

温井わけしよ会では、3月に行われた今年度の総会において、役員と活動内容が決まり、この4月から8月開催予定の「温井わけしよ会フェスティバル」に向けて、スイカ作りがスタートしています。会の構成は、会長、副会長、会計、農営部長、広報部長の役員を含め、現在の総勢15名で、汗みず流しががんばっています。

マイ★オピニオン
意見・私見

「役割」



太田公民館専門部員

柳一広

スイカは他の野菜等とは違い、栽培方法が難しく、作柄が天候に左右される場合も多く悩みの種になっています。しかし、スイカづくりの講師に生産者の方をお招きし、土壌作りから収穫に至るまでの半年間にわたりお力添えをいただき、毎年良いスイカができるよう頑張っています。

専門部員。はじめは何をするのか、どうすればいいのか全く分からなかった1年目。経験が踏まえ、段取りが分かるようになった2年目。そして、任期が終了する3年目を迎えた。

正直、自分が子供の頃、公民館活動というものに参加した覚えがあるのは、球技大会くらいである。それが、専門部員になって皆さんの行事が行われていることをはじめに知った。その中のひとつに運動会がある。どの地区でも行われている行事だとは思いますが、太田地区では、人集めに苦労する集落が多く、やめようと言う話があがった。

やめることは簡単である。が、子供達や家族、またお年寄りの方のふれ合う運動会というひとつの場を消してしまおうのとは違う事で、存続となった。「世代を超えた地域のつながり」テーマは大きいかもしれないが、その小さな歯車となるのが公民館であり専門部員であると思ふ。任期の限り地域に貢献していきたい。

随時、新メンバー（子ども連れの方も！男性の方も！）大募集しています。譜面がよめなくても、英語が苦手でも、リズムに乗って歌うことが大好きなら大丈夫です！興味のある方は、気軽にぜひ一度見学にいらしてください。お待ちしています。



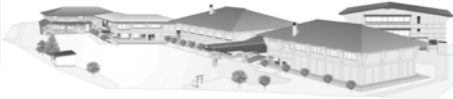
利用者の声

ゴスペルサークル『with J』

私たちは、毎月2・4金曜日の午前10時から11時30分まで飯山市民館音楽室で活動しています。メンバーは、みんな歌うことが大好きです。「ゴスペル」とは元々黒人霊歌です。奴隷制度の絶望的な状況の中で、神への信仰に希望と喜びを見いだしていく中で生まれました。ゴスペルミュージックには「喜び」があります。歌を通して人々を励まし、どんな状況の中にも希望があることを世の中に伝えていく音楽です。私たちのサークル

に宗教色はありませんが、歌によって救われるという意味では同じだと思います。日頃、子育てや家事・仕事など何かと忙しい毎日の中で、少しでも自分の時間をつくり、仲間と共に好きな歌を思い切り歌うことで、心も体もスッキリします。まず自分自身が癒され、そして周りの人たちにも優しい気持ちになれたらとても素敵なことです。

ステージ発表の緊張感や充実感には、経験しないとわからない楽しさがあります。みんなで心をひとつに合わせ、ハーモニーを楽しみながら歌う喜びを、私たちと一緒に味わいませんか？



飯山市成人式協力員大募集!!

飯山市民館では、平成19年度飯山市成人式（8月15日開催予定）に先立ち、本年度成人式該当者（S61・4・2～S62・4・1生）の中より協力員を募集いたします。自分たちの成人式を自分たちでプロデュースしてみませんか？詳しくは飯山市民館（Tel62-3342）までお問い合わせください。

マイ★オピニオン
意見・私見

「おらほうの公民館」



写真が無いため似顔絵です。

秋津地区

大久保公民館 湯本二郎

「おめえ誰だっけ」「俺がえ、俺○○の息子ださ」「そうかあ、あの○○の息子かあ」「おめえあの人見たことあるが」「ああ、あの人かあ、あれ昨年○○から越して来た○○ださ」「ふうん、おらあ知らねがったなあ。えくつぐれがなあ」「まだわけだろなあ」「そんな話が公民館事業の中で聞こえてくる。同地区にいて知らないものどうしが会える場所だ。話をし

てみると、その人柄がなんとなくわかったような気がしてくる。にこやかになる一時でもある。大久保公民館では、道祖神から始まり、敬老花見会、ゲートボール・バーベキュー大会、そばを作ってカラオケ・芸能ありの収穫祭などが主な事業になつていく。特にゲートボール大会では、老若男女の出場で、お互い教えたり教えられたりの光景が見られる。また、その直後の焼き肉では、じいちゃん・ばあちゃんから孫（ひ孫？）までそろって、うまい肉や野菜を煙をよけながら割り箸でつつきあう。区民が一

同じ集うイベントのひとつである。ひと昔前の公民館事業は、スキー大会、海水浴、組対抗野球（昔は若者がいっぱいいた？）などでしたが、今は様変わりしています。公民館では、普段あまり顔を会わす機会が少ない区民に、集まれる場所や環境を設定し、そこで気持ちよくフレッシュアップできるような事業になるようにしています。お互い当事者になれば色々大変ですが、地区の皆さんと協力しあって行っています。

マイ★オピニオン
意見・私見

「富倉の今」

富倉地区 中谷 上野年一



全国どこに行ってもそれぞれの地域にあった公民館活動が行われ、山村の小さな集落までその活動が理解されているのではないだろうか。私も今から10年くらい前に地区の館長にと重責を負うようになった。地域のみならず活動に努力してきました。その当時はまだ家の数も多く、人口も今よりかなり多かつたので公民館活動にも何かと力が入り、活発に活動していたように思います。しかし、現在の富倉に住む若い仲間の少ない中でも、館長を中心に必死に頑張っている姿を見ると頭が下がる思い

市の区長総会で富倉の人口減少による役職の担い手がいない現状を行政に訴えて、理解を求めらうべく行動を起しました。人口の減少はこの地域でも同じかと思いますが、特に冬の生活で雪の作業が一番大変な雪深い富倉のような山間地が顕著なようです。炬燵でお茶を呑みながらの会話でも「いま少し雪が少ないといいたがなあ」というのが誰となくついでに愚痴です。しかし、住めば都、生まれ育った土地が一番と、今もこの土地を離れがたく思っている。私もそんな一人です。南風が吹き、雪の消えた土手に一番早く顔を見せるふきの玉を見つけると、「よしやつと、厳しい冬から解放された」とほっと一息つくこの時期から秋までが、富倉の最高の季節であり、いいところが一杯あります。みなさん富倉を訪れてみてください。